

登録時の注意事項

総合目録データベースの入力件数は順調に増加していますが、書誌レコードの重複などの問題も若干発生しています。登録作業においては、以下のことに御留意くださるようお願いいたします。

1. NC(総合目録)書誌レコードの流用入力について

(1) 検索してヒットした書誌レコードがNC書誌レコードであるにもかかわらず、参照MARCLレコードだと思ってCREATE(流用入力)すると、重複レコードが作成されてしまいます。流用入力の際には、ファイル名の確認を忘れずに行なって下さい。なお、誤ってNC書誌レコードをCREATEした時は、REGISTER前な

(2) また、NCLレコードを使って別の書誌レコードを作るためにCREATEした時は修正のし残しがないように注意してください。

2. 書誌レコードの検索について

このたび目録システムの応答時間の短縮を図るため、従来5～10分間隔で行なっていた「キーワード切り出しプログラム」の作動を1日1回(昼12時～)とすることになりました。このプログラムは次のような機能を持っています。

ア 新規入力レコードから、書名、著者名などの検索用キーワードを作成する。

→[図1参照](#)

イ 修正により作られた同一ID番号の複数レコードのうち最新のものだけを表示する。

このことに伴い、登録する際には、次のことに留意して下さい。

(1) 新規入力レコードの検索について

新規入力レコードを検索する場合は、ID番号、NBN(全国書誌番号、和書の場合JP番号)、LCCN(LCカード番号)、ISBN(国際標準図書番号)などのコード

類、またはAKEY(短縮キー)を使って下さい。

他の図書館でも同時期に入力する可能性の高いもの(例えば和書の新刊書)を登録するときは、書名、著者名でNC書誌レコードがヒットしない場合も、上記のコード類等で検索して下さい。これは、同一書誌を二重に登録しないために、特に必要なことです。

(2) 修正レコードについて

レコードを修正すると、上記プログラムが働くまでの間は、検索・簡略表示画面では、同一ID番号のレコードが複数件表示されます。修正されたレコードは下側に表示されるので、利用する場合は修正された方を使って下さい。